

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

授業支援ソフト「ロイロノート」の導入事業

事業の経過・背景・課題

国のGIGAスクール構想に基づき、令和3年4月に児童生徒1人1台タブレットを配備。充実した授業展開を図るため、令和4年度は授業支援ソフト「ロイロノート」を試験的に導入し、タブレットを活用した授業を行った。

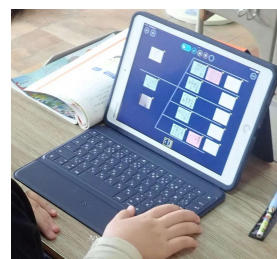
主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業支援ソフト「ロイロノート」の活用が有効であるため、令和5年度から本格導入している。

取組内容

交付実績額： 2,003 千円

授業支援ソフト「ロイロノート」を導入し、学習指導要領に基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る

- ・教職員研修「創造的な授業づくり講座」で有効的な活用方法を共有
- ・「活用型情報モラル教材GIGAワークブック」ロイロ版等の教材を共有
- ・活用状況を確認し、活用頻度が少ない学校への支援を実施
(ICT支援員を重点的に配置、指導主事による指導助言)



事業の成果・今後の展望等

- ・より多くの児童生徒に発表させることや、回答を共有し、協働して考えあうこと、思考の可視化により、深い学びに繋げることで児童生徒の思考力、判断力、表現力を向上させることができる環境を充実させることができた。
- ・児童生徒が主体的に課題と向き合い、自らの考えを持ち、考えを伝えあうことで、学びの意欲を高め、深まりを求める「考え合う授業」の充実が図れた。
- ・「ロイロノート」の導入により、タブレット端末の活用促進を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、今後も取り組みを進めていく。授業における活用率は、小学1年～3年で66.7%、小学4年～6年で90.4%、中学1年～3年で95.7%となっており、発達段階や教科の特性に応じた活用について検討し学習活動を充実していくとともに、活用の進みにくい学校へ指導助言や支援を実施していく。

問い合わせ先

亀岡市教育委員会教育総務課 (0771-25-5052)